

(平成二十五年三月十八日)

今東アジア一の富裕國はシンガポールなり。一人當り國內總生産は五萬ドルを越え、日本のほぼ一・五倍に當れり。實際に彼の地にあらば、豊かさを實感せずんばならず。此の小さき國遍く、自動車道路と電車の軌道四通八達す。試みに何處なりとも道路の片隅に車を駐車し、或いは電車の驛舎に降り立ち、邊りを散策せば、瀟洒なる外觀・色合ひの住宅建築並び立ち、合間に緑地の點綴するを見る。如何なる地點に立ちて眺むるも、周圍の風景の色彩・造形調和せるに感嘆すべし。我らが國に往々にして跋扈する色彩・高さ不揃ひの建築群はほぼ見當らず。況んやけばけばしき廣告・立看板をや。規制完璧なりと覺ゆ。

我は好まざれども、歐米的感性・價值觀にて世界の事物に順位を付し、自らの優越を悦ぶは、歐米人の習性なり。彼等世界の都市を取上げ、好ましき順に順位附けす。一位、二位、三位はニューヨーク、ロンドン、パリなれども、彼等、第四位にシンガポールを推す。ニューヨーク、ロンドン、パリ、何れも、歐米人が特性たる二重規準を象徴する如く、都市域の一部に、かなり廣き醜惡、汚穢なる貧民區あり。シンガポールは國全體を見るも斯かる區域無し。こは歐米人の感知すること無きシンガポールの、他都市に優る利點ならずや。此の國の人等、純然たるアジア人にて、歐米的二重規準に毒せられざるを示す。

シンガポールの富は何に基つき、そが繁榮は何處より來たるや。一は國父にして、獨立運動以來此の國を指導し來れる客家系華人、リー・クアンユー(李光耀)の指導力なり。二に獨自の感性・價值觀に基つき構築せる政治組織と、それを支ふる清廉にして能力高き政治家官僚、三に金融、運輸、觀光其の他、世界に冠たる効率を誇る第三次産業を數ふべし。リー・クアンユーは、英國ケンブリッジ大學にて、アイザック・ニュートン以來と稱揚せられたる大秀才なり。植民地よりの獨立運動にマレー人指導者と共に奔走し、首尾よく獨立を達成せるも、獨立せるマレーシアのマレー人指導者、獨立マレーシアに華人の勢力強きを嫌ひ、華人多數を占むるシンガポールを、マレーシアより放逐す。斯くして一九六五年シンガポールは獨立せるも、そは國民の祝福を受けたる獨立に非ず。リー・クアンユー、マレーシアよりの分離獨立を國民に告げしに、號泣を止め得ざりきとぞ。

一九六五年のシンガポールは、英國植民地時代の軍港設備は残れど、經濟力、資源乏しき、淡路島程の面積の、貧寒たる小國に過ぎず。自給するに足る水資源とて無く、將來の經濟的自立を疑ふ者多し。我ヴェトナム戰爭中の一九六九年に此の國を訪れしことあり。アメリカ軍兵士多數滞在し、休息と娯樂(R&R)に米ドルを落せるは、貴重なる外貨收入なるめれど、そちこちに貧相なる小屋の群がる街區ありて、到底今日のシンガポールに比すべくも非ず。當時の誰か、五十年後の隆盛を想像し得たる。

獨立後此の國の歩みしは苦難の途なりき。獨立直後の經濟、ヴェトナム戰時米ドルの流入に潤ひしは須臾のことにて、一九七〇年代よりは、狭小なる國土に造船、加工工業等の工場を建設し、工業中心の發展により國の基礎を固む。されど現下のシンガポールの繁榮、一

九八〇年代にリー・クアンユーが國家目標を第三次産業中心に設定せるを因とす。世界とアジアの經濟動向と自國の潜在力を見据ゑたるリー・クアンユーの先見性こそ、又斯かる世界に冠絶せる指導者に十二分に能力を發揮せしめたるこそ、此の國の幸ひなれ。

シンガポールの効率高き第三次産業の一例を挙げむ。我一九八〇年代に此の國に赴き、コンテナ輸送を主體とせる港灣業務の、既に完全に一貫して電子化せられたるを實地に見て驚嘆す。コンテナ船シンガポール港に近附くに、電子媒體もて港灣當局に聯絡、入港すべき埠頭番號の指示を受く。入港するに、直ちに荷下し・荷揚げ作業と、荷下しせる貨物、特に麻薬の有無の検査を行ふ態勢已に整へり、凡て終了せば出港を許可す。日本の港灣ならば一日を要する作業を僅々三時間にて處理すと聞く。當時シンガポール港、ニューヨークを凌ぎて、貨物扱ひ量世界一の港灣に躍り出でたるはむべなる哉と感銘せられたり。

此の國の政治制度、我はリー・クアンユーが、一九六〇年代日本の自民黨政府の、清潔にして、効率高き官僚制度に想を得たるに非ずやと推測す。表面上英國式議會制民主主義を標榜するも、實質的には獨立以來今日まで、政權黨は連綿としてリー・クアンユーの創設せる一黨なり。されど一九六〇年代以後は、我らが國と此の國の辿りたる途は對照的なり。我らが自民黨の一九七〇年代以降凡庸にして腐敗せる政治家の跳梁を許したるに對し、シンガポールはリー・クアンユー以下、清廉・有能なる政治家等の引續きて政治を指導す。共に議會制民主主義を標榜する兩國なれど、違ひは我らが眼前に歴然たらずや。

政治家・行政官の清廉を維持する制度、我らが制度より更に徹底せり。日本人等の外國人、屢しシンガポール政府高官に手土産を持參す。そを受領せる者、必ず其が價格を政府に申告、不用品とて國庫に納入するか、はた又自ら購入せむとて價格分の金額を年末の賞與より減額するか、何れかを選択するが此の國の制度なり。

第三次産業を見るに、金融はシンガポールが東南アジアの中心なり。アジアに於ても取扱額已に香港を凌ぎ、東京に迫る。情報産業、アジアのみならず世界の主導國の一たり。港灣貨物取扱量の世界一なること上記の如し。觀光客數、航空旅客數、アジアにありてはバンコクに次ぐ。近年は國內の醫療施設を整備し、醫療觀光に力を注ぐ。

此の國は我ら日本人に學ぶところ多き國なり。第一に同じく議會制民主主義を標榜しつつも、個人に非ずして家族、親族等の集團を重視する社會構造とアジア人の感性を共有すれば、我らが政治と行政の類廢の因を知るに、此の國に勝る範例世界に他に無きに非ずや。此の國の政治と歩みを具さに知らば、必ずや我らが國の政治の劣化を建直す示唆を得む。

第二に此の國の指導者多く毆米に遊學すれど、一部の我らが國人に異なり、徒らに毆米の範例と毆米人を尊崇する弊を脱せり。例へばシンガポールは刑罰厳しき國にして、一定量を越ゆる麻薬を國內に持込まば、外國人たるも斟酌せず、死刑に處す。毆米ジャーナリズムム此の國の刑罰厳しきを批判するも、政府そを意に介すること無し。毆米ジャーナリズムム上の此の國の政治制度、一黨の繼續して政權にあり、野黨による政權交替無きを非難するも、シンガポールは政府も輿論もそを毫も斟酌せず。此の國の輕度の刑罰に笞打ち刑あり。毆米人そを嫌ひて、過年一英國人少年此の刑を宣告せらるるに、毆米のジャーナリズムム、

人權侵害なりとて大々に騒ぎ立つ。されど政府は肅々と刑を執行す。我が國報道界、毆米ジャーナリズムの報道を過度に重視し、政府亦それに影響せらるるに異なれり。

第三に、これ亦毆米ジャーナリズムの攻撃する情報の規制なり。東アジアは宗教による社會の規制力弱ければ、野放圖なる情報の跋扈は青少年の倫理觀を減退せしめ、公序良俗を害すること必定ならずや。現下の日本、シンガポールの情報規制に學ぶべきに非ずや。他にもシンガポールの社會各般に、我らが範と爲す可きこと數多あり。市中心部の交通渋滞緩和の爲、市街地各處に設けたる鳥居状の門と自動車に設置せるETCにより、中心市街地に進入せんとする自動車より料金を徴收するも、街路上に塵芥を棄つるに過料を課すも、それが好例ならむ。我ら日本人、毆米に學ぶに熱心なるも、アジアに學ぶを嫌ふ嫌ひ無きや。そは豈シンガポールに限らんや。されど此の國は、毆米に學ぶのアジアに學ぶに如かざるを、具體的實例もて示す國に非ずや。